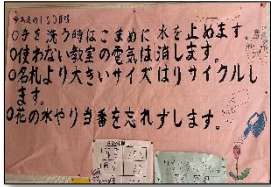
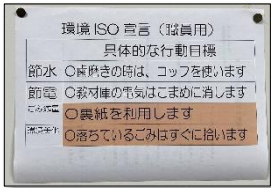

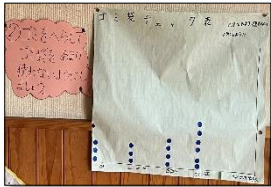





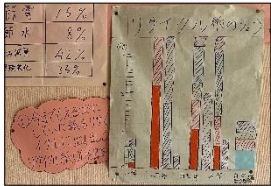

令和4年度（2022年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：球磨村立一勝地小学校 >

1 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言	 <p>児童用</p>  <p>職員用</p>	<p>昨年度の宣言項目についての意識調査を行った。そこから自分の課題は何かを明らかにしていった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電 15% ・節水 8% ・ごみ減量 42% ・環境美化 35% <p>この結果から、今年度は「ごみ減量」「環境美化」に力を入れて取り組んでいくこととした。</p> <p>○手を洗う時には、こまめに水を止めます ○使わない教室の電気は消します ○名札より大きいサイズはリサイクルします ○花の水やり当番を忘れずにします</p> <p>職員も児童同様、意識調査を行い、次の宣言項目を設定した。</p> <p>○歯磨きの時は、コップを使います ○印刷室の電気はこまめに消します ○裏紙を利用します ○落ちているごみはすぐに拾います</p>
行動	<p>今年度の重点課題掲示</p>  <p>ゴミ袋チェック表</p>  <p>リサイクルボックス (児童用)</p>  <p>(職員用)</p> 	<p>児童の課題が「ごみ減量」と「環境美化」であることが明らかになったので、今年度はこの2つの項目について特に力を入れて取り組むこととした。</p> <p>1 ごみ減量について</p> <p>○昨年度の取組を見直す</p> <p>昨年度までもごみ減量については取組を行っている。しかし、児童の意識が高まっていないのは何故なのか委員会で話し合った。これまでは委員会が各教室のごみを回収し計量を行いグラフ化していた。それを自分たちが出したごみは、学級ごとに自分たちで処理するという方法にした。</p> <p>○ゴミ袋チェック表</p> <p>「ゴミ袋を使う＝ゴミが多い」という考えから、どれだけゴミ袋を使ったのかグラフ化した。</p> <p>○リサイクル紙の利用</p> <p>「リサイクル紙が多い＝燃えるゴミが減る」という考えから、リサイクル紙の計量を行った。リサイクルボックスを各教室に設置し、月1回の委員会活動の日の昼休みに委員会で回収、計量し、グラフ化していった。職員も裏紙の利用を進めるため、印刷室にリサイクル紙の棚を設置した。また、職員会議等の資料はペーパーレス化を進めていった。</p>

	 <p>花の水やり</p>  <p>草むしり大会</p>	<p>2 環境美化について</p> <p>○昨年度の取組を見直す</p> <p>緑の少年団活動では一人一鉢運動を行っている。新たな取組を始めるのではなく、緑の少年団と協力するという考え方で取組を進めていった。</p> <p>○花の水やり当番活動</p> <p>一人一鉢運動を縦割り班で行っている。プランターへの水やり当番表を作成し進めた。しかし、なかなか徹底しなかったため、毎日水やり当番の名前を放送し啓発を行った。</p> <p>○草むしり大会</p> <p>委員会主催の、縦割り班対抗「草むしり大会」を行った。制限時間内で草の量を競い合い、優勝した班には環境運営委員会作成の賞状も渡した。</p> <p>○クリーン作戦</p> <p>地域を方々と協力しながら、地域の清掃活動を行った。また、清掃後には花を植え、自分たちの村をきれいにした。</p>
記録	 <p>リサイクル紙の量</p>	<p>毎月末に「環境ISOチェックの日」を位置付け、振り返りを行った。結果は次のとおりである。</p> <p>1 節電・節水について</p> <p>昨年度までは、隣接する小学校と一緒に校舎を使用していたため、使用量で比較することは難しい。12月の児童の意識調査によれば、8割が意識していると回答しており、4月とほとんど変わっていない。</p> <p>2 ごみ減量について</p> <p>12月の児童の意識調査によれば、4月と変わらず6割が意識している。2学期中頃には8割に上がったが、その後低下している。</p> <p>3 環境美化について</p> <p>12月の児童の意識調査によれば、4月と変わらず4割が意識している。2学期中頃には6割に上がったが、その後低下している。</p>
見直し	 <p>花のお世話</p>	<p>1 節電・節水について</p> <p>○冷房や暖房の入った教室で、ドアを閉めていないことがよく見られる。色々な視点で節電や・節水ができることを伝えていきたい。</p> <p>○電気の使用量や水の使用量を児童に知らせ、節電・節水の意識を高めていきたい。</p> <p>2 ごみ減量について</p> <p>○リサイクル紙への関心は高まっている。呼びかけ等定期的に行ったり、計量結果を児童に放送等で知らせたりして、継続して関心が高まるようにしたい。</p> <p>3 環境美化について</p> <p>○花の水やりは定着してきており、きれいな花を咲かせている。今後も継続していきたい。</p>

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>○昨年度の宣言項目から自分たちの課題を見付け、今年度の重点取組を決めて取り組んだことで、「ごみ減量」「環境美化」についての児童の関心が高まった。</p> <p>○リサイクル紙の量がどんどん増え、燃えるごみの減量化につながった。分別することが身に付いてきている。</p> <p>○環境美化については、緑の少年団と協力しながら進め、花の水やり当番は定着し、植物への関心も高まってきている。</p>	<p>○「ごみ減量」「環境美化」への児童の関心が高まったが、持続することができなかった。定期的に啓発活動を行う必要がある。</p> <p>○学級によってはリサイクルできない物までリサイクル紙ボックスへ入れていた。分別についての仕組みにも触れ、啓発を行う必要がある。また、家庭への啓発も同時に行いたい。</p> <p>○環境美化については、花の水やりだけにとどまっている。花の種植えから自分たちでできるような仕組みを作り、自発的な活動につなげていきたい。</p>